

○昼休み中に、よく読んでおきましょう。

多職種協働研修（基礎コース）グループワーク用事例

事例概要

D子さんは75歳の女性で78歳のご主人と二人暮らしです。夫婦で食料品店を営んでいます。食料品店はS市の分譲住宅のショッピングセンターにあり1階が店舗で2階が住居になっています。2階までの階段は真直ぐで急な階段です。両手で壁を支えながら昇り降りしています。

D子さんは、数年前にアルツハイマー型認知症と診断され、病院で行った改訂長谷川式簡易知能スケールは質問が始まると興奮してしまい測定できませんでした。

ご主人は、10年ほど前から、同じ事を何度も聞いて来たり友人との約束を忘れてりするのをおかしいと思っていましたが、お店でお客さんとのやり取りは普通な為そのままにしていました。

4～5年前、レジで釣銭を間違えることが度々出てきたためレジはご主人が担当し、時々手伝いに来る娘と従業員で店を切り盛りするようになりました。D子さんは時々2階から降りて来て馴染みのお客さんと世間話をしていました。

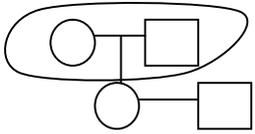
2～3年前、ご主人と娘さんはお客さんと世間話ができるかと安心していましたが、掃除・洗濯ができなくなりご主人にちょっとしたことで言葉を荒げ興奮するようになりました。

現在は、意志疎通困難になりゆっくりと話しても内容は伝わらず、自分の思いを言葉にして伝えようとしても最初の言葉が出ず20～30秒掛かる時もあります。「そ、そこに」と幻視がありふらふらと動きだします。不穏・興奮・暴言等を繰り返す毎日になりました。便秘になっているときは、特に不穏になっています。それでも急な階段を手さぐりで降りて来て、お客さんがいると会話はできなくなりましたがニコリします。それ以外の時は、部屋でボーとしています。

今年になり介護保険を申請し要介護3だった為、A小規模型通所介護事業所を利用する事にしましたが午前中に帰され、「他の利用者さんが不穏になるから」と利用を断られてしまいました。そこで、主治医に相談して少しでも落ち着く薬を出してもらいました。日中ほとんどすることがないので、介護支援専門員（ケアマネージャー）に相談して、現在は認知症デイサービスに週1回（火曜日）とデイケアに週1回（金曜日）通い始めました。

認知症デイサービスでは、介護職が生活歴を活用して回想法を取り入れたところ、絵を見ると表情が穏やかになるなど効果的な面がみられています。

最近、食欲が落ちてきて体重が減ってきたので、ご主人は気にしています。

年齢・性別	D子さん、75歳、女性	
家族構成	夫と二人暮らし。 娘は嫁いで、近くに住んでいるが、 仕事をしているので、時々しか 手伝えない。	
	1	

生活歴	<p>D子さんは千葉県生まれでお父さんは官僚で、何不自由なくお琴や華道を習うだけでなく、スポーツ万能で明るく利発なお嬢様でした。兄や従弟たちも公務員でした。夫も公務員だったことから、従弟の紹介で知り合い結婚をしました。</p> <p>ご主人は、D子さんが普通の公務員の奥さんになってくれたということで、とても大切にし、30歳代でご主人が公務員を退職し2人で商売を始めました。</p> <p>現在の団地が分譲されショッピングセンターで店が持てるようになり、好景気で従業員を何人も雇っていました。</p> <p>夫婦で海外旅行へ年に何度も出かけ「2人で行ってないのはアフリカかな」と言う程でした。</p> <p>また、D子さんは絵画が好きでフランスに何度も行き絵画を買ってきました。部屋中に大小さまざまな絵画が家族写真と一緒に飾ってあります。</p>
病歴	高血圧症、脂質代謝異常、アルツハイマー型認知症
服用薬	アリセプト、リピトール（高脂血症用剤）、ヘルベッサー（降圧剤） セロクエル（抗精神病薬）
要介護度	3
障害老人自立度	ランクA
認知症老人自立度	ランクIII

健康状態		顔色はよい。体の不調の訴えはない。血圧値も服薬中で安定（正常範囲内）している。体温、脈拍、呼吸数は、正常範囲内。便秘傾向がある。
ADL （日常生活動作能力）	移動	足がふらつくので、階段の上り下りは支えが必要。
	食事	1人で、はしを持って食べることができる。
	入浴	介助が必要。
	排泄	時々、尿・便失禁があり、おむつ（リハビリパンツ+パッド）を着用。
	整容	介助が必要。
	衣類着脱	介助が必要。
IADL （手段的日常生活動作能力）	食事の支度（料理）	お鍋をこがしてしまうことが何度もあり、危険なため家族が注意、料理はしなくなってしまった。
	家事（掃除）	できない。
	洗濯	できない。
	電話	電話が鳴ると受話器は取るが話せない。
	移動・外出	夫と一緒にであれば外出できる。
	服薬の管理	決まった時間に決められた量を服薬することができないので、夫が管理している。
	金銭の管理	まったくできない。
買い物	1人ではできないが、物を選ぶことはできる。	
睡眠		よく眠れている。
認知		生年月日や生まれは聞いても答えない。食事を食べたことを忘れて、食卓に座って待っていることもある。
心理・行動症状		不穏、興奮、暴言を繰り返す。幻視。 夫に対して暴言を吐いたり叩くことがあるが、「お父さん」をいつも連語している。夫の姿が見えなくなると、「お父さん」と叫びながら探し、見つかると幼子のように夫に頭をくっつけている。 時々、尿便失禁があり、人に知られると嫌がる。また、そのことを夫に責められると興奮し暴言が出る。
コミュニケーション		うまくとれない。自分の思いを言葉にだせない。 お客さんがいるとにっこりほほえむ。
社会との関わり		お客さんとの会話を楽しむ。
性格・気質		社交的である。

生きがい・趣味	夫婦での食料品店経営。絵画鑑賞。
人間関係	もともと人との付き合いは良好であった。 現在、認知症デイサービスやデイケアに通っていて、スタッフや利用者と話の理解はできないけれどにこにこしている。
介護力	夫は、D子さんと2人で苦楽を共にしてきたため、妻の言動がおかしくなっても常連の客に支えられ仕事を続けながら妻を介護してきた。施設に入れることは全く考えていない。 自分の体が続く限り自宅で介護を続けたいと娘には言っている。 娘は、仕事をしているため、時々しか実家に行けないためどうしたらよいか困っている。
排尿・排便	便秘がある。 時々、尿・便失禁あり。
口腔衛生	入れ歯をいれている。 入れ歯の具合が悪くてうまく噛めないためなのか、嚥下の状態が悪いのか、よくむせる。
食事摂取	食欲がおちて、飲み込みが悪くなったようで、食事の量が減っている。
特別な状況	親から譲り受けたD子さん所有のアパートが2棟あるが、修繕が必要になってきている。